

定時制課程	単位数	2年次以上
午前部	2	選択履修

教科書	学習書・他教材
高校生の美術1（日本文教出版）	なし

1. 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 指導の重点

- ①作品のなかで表現したいことを自発的に考え工夫できるようにする。
- ②自らの作品において造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫について考えて取り入れられるようにする。
- ③他者の作品において造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫について考えて汲み取れるようにする。

3. 評価の観点の趣旨

a 知識及び技能	b 思考力、判断力、表現力	c 主体的に学習に取り組む態度
創造的な美術の表現をするために必要な知識及び技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4. 評価規準と評価方法

評価は、次の観点から行います。

a 知識及び技能	b 思考力、判断力、表現力	c 主体的に学習に取り組む態度
創造的な美術の表現をするために必要な知識及び技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度）、提出物（プリント課題、作品）、作品の完成度などから総合的に評価します。試験は実施しません。

5. 学習計画

学習項目	学習内容	評価方法	評価の観点
1. 木製カトラリー（彫刻）(20) ・スプーンづくり	○スプーンのデザイン、木材の選択・切り出し、刃物の扱い、研磨、鑑賞	授業態度 課題の提出	c
2. 色面構成（デザイン） ・感覚を色で表現する(15) (35時間)	○色彩の学習、画面構成、ポスターカラーでの彩色、鑑賞	作品の完成度	a b
3. 油彩画（絵画）(35) ・静物画 ・風景画 (35時間)	○絵の具の学習、油彩画の技法、鑑賞	授業態度 課題の提出	c
		作品の完成度	a b

計70時間（50分授業）

6. 課題・提出物等

授業は制作を中心に行います。各单元ごとに、計画、制作、振り返り（鑑賞）を1つのサイクルとして課題を進めていきます。試験を実施しないため、作品やプリントなどの提出物が主な評価対象となります。必ずすべての提出物を期限内に提出してください。

7. 担当者からの一言

美術Ⅰでは主に基礎的な知識や技術を学習します。上手に描いたりつくったりすること自体が大切なのではなく、「見る」、「感じ取る」、「考える」、「表す」という美術のプロセスの中で、自分が何を美しいと感じ、何を面白いと思うのか探ることを目指しましょう。美術に苦手意識がある方も積極的に参加してください。ただし、下手と雑は違います。作品は丁寧に仕上げ、振り返りまでしっかり行ってください。あまりにも雑な作品はやり直しになります。

